

# VOICE of the Graduates

国立大学法人

北陸先端科学技術大学院大学

世界最高水準の教育・研究を通して

時代を動かす  
リーダー達

# 世界最高水準の教育・研究を通して 時代を動かすリーダー達

ダイバーシティ環境に富み、専門分野が融合しあう、  
世界最高水準の教育・研究環境を備えた JAIST。  
その修了生達に共通するのは  
正解が決まっている問題を解く能力ではなく、  
正解のない課題に挑戦するための、  
思考力、判断力、推理力、交渉力、独創性など  
定型化できない能力を備えていること。  
そういった「知的たくましさ」を武器に  
時代を動かすリーダー達を紹介します。

## CONTENTS

- 1 木下 浩之 ◆ Hiroyuki KINOSHITA**  
三谷産業株式会社  
コーポレート本部 企画室 企画課
- 2 西納 吉彦 ◆ Yoshihiko NISHINO**  
澁谷工業株式会社  
再生医療システム本部 技術部 設計課
- 3 野口 陽来 ◆ Haruki NOGUCHI**  
EIZO エンジニアリング株式会社  
技術部 技術 2 課 ES 開発グループ 主任エンジニア
- 4 岡山 陽介 ◆ Yosuke OKAYAMA**  
北陸電力株式会社  
七尾大田火力発電所 技術課
- 5 岩瀬 悠樹 ◆ Yuki IWASE**  
澁谷工業株式会社  
メカトロ事業部 サイラス本部 サイラス技術部 技術課

時代を動かすリーダー達

身につけたのは、  
価値ある“問い”を見いだす力

*Voice of the Graduates*

木下 浩之 ◆ Hiroyuki KINOSHITA

三谷産業株式会社  
コーポレート本部 企画室 企画課

2015年知識科学研究科 博士前期課程修了

## ◎ エンジニアの枠を越え、 もっと自由に学びたかった

京都大学の工学部にいた頃から、学際的な活動に興味をもち、様々な大学と連携してプロジェクトを立ち上げるなどしてきました。当時からエンジニアというより、技術やアイデアを社会に生かしていく仕組みを考えることに関心が高かったですね。大学院に進む際も、学部横断的な内容を自由に学びたいという気持ちが強く、その思いを叶えるべく JAIST を進路に選びました。

私が取り組んだ研究テーマは「地域活性化におけるアイデアの創造と実践」というもので、地域社会を活性化するために提案されたアイデアが継続的に実践されていくための要因を探るものでした。JAIST に特有なのは、自分で課題を見つけて研究計画をつくる点で、つまり研究における“問い”を自ら設定しないとけないことです。学術的に、かつ社会的にも価値があり、さらに修士の場合は2年間という時間の制約の中で結論を出せること。それらを満たす適切な問いを見いだすことはまさに試行錯誤であり、非常に困難でした。しかし、今こうして会社で仕事をしていると、同じように様々な制約がある中で、正しい問いを見つけ、短時間で解決することを求められます。JAIST での経験はとても良いトレーニングになったと実感しています。

留学生が多く、各国の文化に触れられたことも貴重な経験でした。考え方や常識の違いを知り、また、例えばお祈りなど宗教的行為も日常的に接して自然に受け入れられる素地ができました。話す人の母国語によりクセの違う英語にも慣れ、多様性に対する柔軟さを得られたのは、ビジネスの上でも役立つ大きな財産になったと感じています。



## 自己を磨き、自己を活かす その最適の場を JAIST でも 社会でも自ら創出しよう!

Voice of the Graduates

2

### 西納 吉彦 ◆ Yoshihiko NISHINO

澁谷工業株式会社  
再生医療システム本部 技術部 設計課

2012年知識科学研究科 博士前期課程修了

#### ◎自分を豊かにするために、 JAIST という挑戦

大学時代、私はナノ分野の最先端にいました。しかし、この研究が世界・未来とどう繋がっているのか見えない。モノ創りが好きな私は、新規な製品を創製し、その製品が社会や人々にどう影響を及ぼすのという革新の一連を捉える学問を求め、模索の結果、知識科学研究科に行き着きました。文理融合の知識を取得するなかで、技術があっても衰退するという現代企業のジレンマを取り上げ、イノベーションと経営を論ずる講義はとくに印象深く、現在の仕事にも役立っています。また、情報系出身の学友が社会へ向ける視点や洞察から影響を受け、グループワークで問題解決に取り組むというゼミ形態は非常に学ぶものが多かった。学びたいという意欲に対してその機会を限りなく与えてくれる環境が JAIST にはありました。

現在の勤務先では再生医療機器の設計に取り組んでいます。私の専門性、そして企業で自ら学んだ知識を携え、希望部署への移動を“説得”した結果です。これも、JAIST 時代に身に付けたノウハウです。

大学院進学を前にして迷う人へ伝えたい。ロジカルに考えて安穩な進路を取るより、好奇心とか興味といった感性や感情で選ぶほうが人生はおもしろい。私にとって JAIST というチャレンジは、明日を拓くための第一歩だったように思います。

## 社会を生きて行くための 確固としたスキルと経験を 積むことができる

Voice of the Graduates

3

### 野口 陽来 ◆ Haruki NOGUCHI

EIZO エンジニアリング株式会社  
技術部 技術 2 課 ES 開発グループ 主任エンジニア

2009年情報科学研究科 博士前期課程修了

#### ◎社会へ、世界へ歩み出す力を JAIST で

私は地元の高専で学び、卒業研究はロボットを制御するプログラムをテーマとし、人工知能の基礎を修めました。しかし、そこで得た情報科学やプログラミングの知識は、はたして社会で通用するのかわという不安がありました。私は、より専門性の高い能力を取得しようと JAIST へ。学部がなく、新生はみな同じ位置からスタートできることが気楽で、しかも、情報分野の多様な研究テーマが揃い、選択肢が多いことに惹かれました。

学生寮は敷地内にあり、部屋から研究室まで徒歩5分という近さ。寮費は安い。また、留学生が多く、英語力を伸ばすだけでなく、グローバルな思考を身に付けられる環境でした。当時を振り返ると、もっと彼らと親密に関わればよかったという思いがあります。

研究室では、専門的なプログラミング技術や論理的な考察法などについてみっちり指導を受けました。JAIST で最も思い出に残るのは、学友とグループを組み、囲碁ソフトを作って国内の大会に出場したことです。決勝トーナメントまで進み、負けを喫したとき「あと一つ、あのロジックを入れておくんだった!」と実に悔しかった。現在、ハードとソフトを連携させながらデバイスドライバの開発を行っていますが、あの当時の「しっかりつめる」という教訓が仕事に活かされています。JAIST には、将来の基盤となる確かな能力を得られる環境がある、と改めて思います。

## 新たな能力を引き出すため 懸命に前へ進む者を、 JAISTは力強くサポート

Voice of the Graduates

4

### 岡山 陽介 ◆ Yosuke OKAYAMA

北陸電力株式会社  
七尾大田火力発電所 技術課

2011年情報科学研究科 博士前期課程修了

#### ◎ 専門知識だけではない 鍛えられる人間力

地元の石川高専で電子情報工学に在籍し、大学院で新たな分野に臨もうと考えた私は、異分野ウェルカムという体制、そして多彩な選択肢を揃えた JAIST に進学しました。

本学での2年間で振り返り心に最も残ることは、JAISTの懐の深さです。研究テーマを思いのままに選び、途中でテーマを変更したいという申し出も受け入れてくれた。結論もプロセスも暗中模索、失敗を繰り返しながら進もうとする私を、教員は温かく厳しく見守ってくれた。私たちの成長を促すため自主的に考察し解決するように接してくれた。また、ゼミやディスカッションを重ねるうち、的確に自分の考えを表現するプレゼンテーション能力も磨くことができた。専門的な知識を身に付けるだけでなく、そうした経験によって社会人として必要な資質を養えたのではないかと考えています。

私は石川で生まれ、高専、大学院も地元で学んだことで、「北陸で一番大きな企業でがんばろう」と考えるようになり、その思いをかなえました。現在、電気関連機械を保守する仕事に就いています。機械装置の支障を解決し、その対策を図るという技術的な面白さと同時に、電力という地元のインフラを支える仕事にやりがいも感じています。

大学卒業後の進路に迷い、それでも新しい事をやりたい、自分の既成の枠を超えたいと切望するなら JAIST にその答えが見つかるはずです。私のように。

## 専門性、英語、国際感覚 学びの意欲を満たす、 多様な能力を得られるはず

Voice of the Graduates

5

### 岩瀬 悠樹 ◆ Yuki IWASE

澁谷工業株式会社  
メカトロ事業部 サイラス本部 サイラス技術部 技術課

2012年マテリアルサイエンス研究科 博士前期課程修了

#### ◎ 大学院進学を転機とし、 科学者の基礎を会得

学生時代、大学で機械工学を修めると、大学院では異なる分野をやってみようと考えようになりました。金沢市出身の私は地元にあるということでJAISTへ。私の在籍した研究室は、二次の非線形光学効果を用いた表面現象の解明を主要テーマとし、私はここでレーザー照射装置などの基礎知識を得ました。現在、地元大手機械メーカーのレーザー加工機部門に勤務しており、JAISTで学んだ知識がベースになっています。

JAISTでは、テーマを学生自身が選べるといった自由度が高く充実した学問環境、理論と実験との差異を追求する研究の面白さ、アジアや欧州などの意欲的な留学生との交流がありました。彼らと語り合うため、必然的に英語力が身に付いたのも留学生が圧倒的に多いJAISTならではのメリットだと思います。

JAISTへ進学した学生の志望理由は、分野第一人者の先生に学びたい、先進の環境で研究したいといった積極的なものばかりではありません。学部の研究に興味を失った、研究室と相性が合わないという消極的な理由もある。しかし社会人になった今だからこそ思うことがあります。科学技術の最先端を実感できるJAISTへの進学は大きな転機であり、新たなチャンスです。精一杯学び、研究すれば、確かなサイエンス能力と豊かな経験を身に付けることができます。

# キャリア支援

## JAIST から社会へ。多様なキャリア形成と実現を支援

本学の先進的な教育システムで、学生たちは、世界に通用する「知的たくましさ」を備えた高度専門職業人、専門技術者、研究者へと成長します。卒業後、社会や産業界で活躍するべく、一人ひとりのキャリアプランを支援し、充実した就職支援システムで就職活動を応援します。



### ● 各種進路ガイダンス

入学間もない時期に、将来の進路を考え、進学・就職スケジュールを理解するため、新入生進路ガイダンスを実施します。また、求人側の特性や動向に合わせた学系別進路ガイダンスを体系的に実施します。

### ● 就職対策セミナー

就職活動に必要な基礎知識を身につけるために、大手企業の元採用担当者や専門の講師が就職活動のノウハウを数回に渡り伝授します。大学院生向けに特化したこれらのセミナーは、学生から「役に立つ」「自分の就職活動に活かせる」と好評です。

#### 1. 自己分析対策セミナー

#### 4. 面接対策・マナー指導

#### 2. 業界・企業研究

#### 5. 総合対策

#### 3. 履歴書・エントリーシート対策

### ● カウンセラーによる就職相談

専門のキャリア開発カウンセラーが親身になって相談に応じます。必要な時に適切なアドバイスが受けられます。

### ● さまざまな経費支援

SPI 模擬試験	本番と同じ、マークシート方式で回答するSPI 模擬試験を年数回実施しています。受験料は大学が負担します。
キャリア形成活動費支援	キャリア形成活動推進のため、企業での研究開発や社会での技術動向の調査研究、就職活動等に必要経費を助成しています。
キャリア支援バス	大都市圏（東京・大阪）で開催される「業界研究セミナー」等へのバスの運行をしています。
インターンシップにかかる支援	就労日5日間以上のインターンシップにかかる旅費等を支援しています。（博士後期課程学生のみ）
その他ガイダンス・セミナー	キャリア支援センターにて行うガイダンス、セミナーは全て無料で受けられます。

その他、面接トレーニング、就職支援情報システム（JAIST キャリアサポートシステム）、進路ハンドブック、JAISTオリジナル履歴書など、強力で就職活動をサポートします。

## VOICE of the Graduates [北陸版]